

## 令和7年度 南房総・館山地域公共交通活性化協議会事業報告

## ○会議開催

月 日	内 容
第1回 R7. 5. 29	【協議第1号】会長選任について 【協議第2号】令和6年度協議会事業報告について 【協議第3号】令和6年度協議会決算報告について 【協議第4号】令和7年度協議会事業計画（案）について 【協議第5号】令和7年度協議会予算（案）について 【協議第6号】地域公共交通計画認定申請書（地域内フィーダー系統）について 【協議第7号】地域公共交通計画別紙について
第2回 R7. 9. 17	【協議第8号】南房総・館山地域公共ライドシェアについて 【協議第9号】地域公共交通計画について 【報告第1号】チョイソコ南房総・館山の実績報告について 【報告第2号】公共交通定額乗車券（スマホ乗車券）について
第3回 R7. 11. 25	【協議第10号】南房総・館山地域公共交通計画について 【報告第3号】チョイソコ南房総・館山の実績報告について 【報告第4号】公共ライドシェア実証運行の報告について
第4回 R8. 1. 26	【協議第11号】令和7年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について 【協議第12号】今後の南房総・館山地域公共ライドシェア実証運行について 【協議第13号】南房総・館山地域公共交通計画素案について
第5回 書面開催	【協議第14号】南房総・館山地域公共交通計画について 【協議第15号】令和8年度地域内フィーダー系統補助の計画変更認定申請書について

## ○主な事業報告

## ①乗合送迎サービス「チョイソコ南房総・館山」について

- ・アイシン（株）のAI オンデマンドシステムを活用し、「路線バス旧平群線」運行エリアを中心に、南房総市三芳・平群地区及び館山市館野・九重地区の一部を含むエリアにおいて運行している乗り合い送迎サービス。（R5. 10～）
- ・運行期間：R7. 4. 1～R8. 3. 31（246日間：水・日・祝運休）
- ・利用状況：1,956人（1日平均7.95人）
- ・受託事業者：鏡浦自動車（株）

## ②公共ライドシェアの実証運行について

- ・地域内の交通空白時間帯解消のため、令和7年3月より実証運行を開始。当初は22時から翌6時までの運行としていたが、利用者ニーズ等を鑑み、令和7年8月より22時から翌2時まで短縮、令和7年10月からは21時から翌1時までの運行とした。ドライバー確保などの課題があり、4月当初に運行を行えない日が続いたが、代行事業者等の協力もあり、5月以降は継続運行が続いている。JR東日本との連携については、令和7年3月いっばいで一度協定期間が終了したが、5月より再度協定を結び、連携を継続している。事故・トラブルに関しては年間通じて発生しなかった。

- ・運行日数：累計 363 日(令和 7 年度 340 日)
- ・利用実績：累計 172 件(令和 7 年度 136 件)

③公共交通定額乗車券の販売について

- ・昨年度に引き続きスマホ乗車券を交通事業者の協力のもと販売したほか、スマホ 2 日乗車券を新たに設定した。

- 種類：①スマホ 1 日乗車券（大人 1,500 円・中高生 1,000 円・小学生 500 円）  
②スマホ 2 日乗車券（大人 2,000 円・中高生 1,500 円・小学生 750 円）  
③スマホ回数乗車券（大人 1,952 円・中高生 1,464 円）

- ・対象路線：南房総市営バスを除く 2 市エリア内全てのバス路線で、1 日乗車券は選択した 1 日乗り降り自由、回数券は選択した路線について、区間を問わず 4 回利用できる設定とし、市街地循環バス無料チケットを 4 枚付与。
- ・詳細仕様：ウェルネット社の Web 乗車券販売システムを活用しているため、構築費用はかからず、販売時に手数料（6%）が発生する仕組みとなっている。
- ・販売実績：R7. 4. 1～R8. 3. 31

① 1 日乗車券	52 件	76,500 円	
② 2 日乗車券	8 件	14,750 円	
③ 回数乗車券	44 件	70,760 円	計 162,010 円

④南房総・館山地域公共交通計画策定業務

- ・令和 3 年 8 月に策定した「南房総・館山地域公共交通計画」は令和 7 年度をもって計画期間が終了することから、現計画の計画目標に基づく計画指標について最終評価・検証を行った上で、公共交通活性化及び再生に関する法律の改正に対応すべく、計画をアップデートし、南房総・館山地域における公共交通の効果的かつ効率的な運用についての基本方針を反映した「第 2 期南房総・館山地域公共交通計画」を新たに策定した。

計画期間：令和 8 年 4 月 1 日～令和 12 年 3 月 31 日

基本理念：地域住民の外出行動を促進し、地区ごとの特性に応じた活性化を図る公共交通ネットワークの実現

南房総・館山地域公共交通計画の評価指標について

【令和7（2025）年度末の状況報告】

評価指標	指標の定義	計画時の値 (2018)	現況値 (2021)	現況値 (2022)	現況値 (2023)	現況値 (2024)	現況値 (2025)	達成状況	目標値 (2025)	経過状況
公共交通利用者数	圏域内バス路線の年間利用者数	347 千人	267 千人	263 千人	294 千人	268 千人	287 千人	83%		人口減少やコロナ禍以降の路線バス利用者離れが続いていたが、若干の回復傾向が見られ、目標値より△17%となった。
	地域間幹線系統バス路線の年間利用者数	265 千人	183 千人	183 千人	219 千人	208 千人	213 千人	80%		上記同様の利用により目標値より△20%となった。
年間観光客数	1日あたりの鉄道駅利用者数（有人駅）	2,955 人/日	2,166 人/日	2,337 人/日	2,446 人/日	2,511 人/日	2,549 人/日	86%	現状維持	人口減少やコロナ禍以降の鉄道利用者離れが続いていたが、若干の回復傾向が見られ、目標値より△14%となった。
	道の駅等の主要観光施設の年間観光客数	913 千人	355 千人	497 千人	784 千人	813 千人	818 千人	90%		コロナ禍以降の高速路線バス利用者離れが続いていたが、回復傾向が見られ、目標値より△10%となった。
移動困難者の割合	市民アンケート調査における公共交通利用に困っている人の割合	11.0 %	- %	- %	- %	8.6 %	- %	-	5.0 %未満	コロナ禍における観光流動の影響が減り、前年度より3%程度増加し、継続的に増加する結果となった。
	運転免許返納件数	361 件	478 件	406 件	363 件	381 件	349 件	50%	700 件	令和6年度市民アンケート調査を行い、目標値には届いていないが、計画時より3.4%減少した。
交通結節点の機能強化 (バス待ち環境整備等)	交通結節点の整備・機能強化 (バス待ち環境整備等)	なし	新規なし	新規なし	新規なし	新規なし	新規なし	-	5 箇所	令和7年の館山署管内実績値
	財政負担額	79,851 千円	54,992 千円	86,394 千円	95,071 千円	99,394 千円	112,682 千円	32,831	現状維持	利用者現状に伴う収入減や車両更新料等により補助額が増えたほか、地域間幹線系統においても協調補助額が増えた。
収支率	地域間幹線系統 ※ 鉄道は除く	62.0 %	68.5 %	48.7 %	46.1 %	52.7 %	52.7 %	-9.3	現状維持	利用者減少、人件費や修繕費等の経費の増加により、市負担額が増えた結果となった。
	地域内路線 ※ 洲の 崎線は除く	27.5 %	35.9 %	29.7 %	25.4 %	24.4 %	25.2 %	-2.3	現状維持	

＜地域公共交通計画の評価等結果の様式＞

南房総・館山地域公共交通計画の評価等結果（令和7年4月～令和8年3月）

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
<p><b>公共交通の利用者数</b></p> <p>【2018年度の値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>圏域内バス路線年間利用者数 (347千人)</li> <li>地域間幹線系統バス路線年間利用者数 (265千人)</li> <li>1日当たりの鉄道駅利用者数 (2,955人/日)</li> <li>高速バス年間利用者数 (913千人)</li> </ul> <p>⇒2025年度 現状維持</p>	<p>計画に従い、地域間幹線系統の維持や地域内路線の再編、利用促進等を行う。</p>	<p>交通事業者が有する実績数値資料を用いて計測する</p>	<p>【2025年度現況値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>圏域内バス路線年間利用者数 (287千人 83%)</li> <li>地域間幹線系統バス路線年間利用者数 (213千人 80%)</li> <li>1日当たりの鉄道駅利用者数 (2,549人/日 86%)</li> <li>高速バス年間利用者数 (818千人 90%)</li> </ul>	<p>路線バス利用者減少が続き、基準年の実績と比べ2割程度の減少となったが、前年度と比べ若干回復した。高速バスは、コロナ禍における大幅減の状態が続いていたが、回復傾向が昨年度に引き続き見受けられた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>利用が少くないバス路線の見直しや路線バスの共通乗車券の販売をはじめ、観光客の誘致促進やワーケーション施策の推進など、関係人口増加に向けた施策とあわせ、公共交通利用促進を図る。</li> </ul>	
<p><b>年間観光客数</b></p> <p>【2018年度の値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>道の駅等の主要観光施設の年間観光客数 (7,101千人)</li> </ul> <p>⇒2025年度 現状維持</p>	<p>観光客誘致施策やワーケーション施策の推進等を通じ、本地域を訪れる関係人口の増加を図る。</p>	<p>千葉県の統計資料等を用いて計測</p>	<p>【2025年度現況値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>6,332千人 (89%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスの影響により減少していたが、5類移行後は回復傾向が引き続き見受けられる結果となった。</li> <li>商工観光部局を中心に、各種観光促進策に取り組んでいる。</li> </ul>	
<p><b>移動困難者の割合</b></p> <p>【2018年度の値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民アンケート調査において公共交通利用に困っている人の割合 (11.0%)</li> </ul> <p>⇒2025年度 5.0%未満</p>	<p>計画に従い、交通ネットワークの維持、再編やライダー・補充交通の整備等を図り、車が無くても安心して生活できる環境づくりに努める。</p>	<p>計画最終年度にアンケート調査により計測する</p>	<p>【2024年度現況値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>8.6%</li> </ul>	<p>R6市民アンケート調査による結果では、計画策定時より減少したが、目標値には満たない結果となった。</p>	
<p><b>運転免許返納件数</b></p> <p>【2018年度の値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>運転免許返納件数 (361件)</li> </ul> <p>⇒2025年度 700件</p>	<p>計画に従い、交通ネットワークの維持、再編やライダー・補充交通の整備等を図り、車が無くても安心して生活できる環境づくりに努める。</p>	<p>警察が集計する統計数値を用いて計測する</p>	<p>【2025年度現況値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>349件 (50%)</li> </ul> <p>※館山警察署管内の数値であるため、計画区域外の館南町の実績も含まれる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者の増加に加え、高齢ドライバーによる補ましい事故報道が目立って増えていることや、2市による免許返納者向け施策の効果もあり、返納者は増加傾向にあったが、前年度より若干減少した。</li> <li>免許返納後、買い物や通院等に困るといった声も届いているため、返納後も生活しやすい環境づくりを行う必要がある。</li> </ul>	
<p><b>交通結節点の機能強化</b></p> <p>【2018年度の値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>交通結節点の整備・機能強化 (バス待ち環境整備等) (0箇所)</li> </ul> <p>⇒2025年度 5箇所</p>	<p>バス路線の再編等に合わせ、バスや列車の待ち時間も快適に過ごせる環境づくりに行う。</p>	<p>事業内容により計測する</p>	<p>【2025年度現況値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>0箇所 (0%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画策定後、目的地までの直通需要が多いなど、当初の構想と実際のニーズの乖離も出てきているが、バス路線再編等の中で、待ち時間も快適＝公共交通が選ばれれば環境づくりに努める。</li> <li>館山駅東口ターミナルにおいては、行政だけでなく民間による活性化の動きもあり、これらの動きと連携しながら、地域の玄関口である館山駅の結節機能強化を図る。</li> </ul>	

＜地域公共交通計画の評価等結果の様式＞

南房総・館山地域公共交通計画の評価等結果（令和7年4月～令和8年3月）

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
<p>財政負担額 【2018年度の値】 ・地域内路線バスにおける2市の補助金 (79,851千円) ⇒2025年度 現状維持</p>	<p>計画に従い、利用の少ないバス路線の見直し(ダウンサイジングを含む)を行うなど、利便性とコストのバランスが取れたネットワークの構築を目指す。</p>	<p>令和7年度補助金支出確定額から</p>	<p>【2025年度現況値】 ・112,682千円 (32,831千円)</p>	<p>・計画期間における新型コロナウイルスの影響や、2市の人口減少等による利用者の減少や燃料費高騰等による運賃費用の増は深刻な状況であり、バス路線の維持存続がこのままでは危ぶまれる。そのため、バス路線の新たな転換を踏まえた施策の展開が必須である。</p>	
<p>収支率 【2018年度の値】 ・地域間幹線系統 (62.0%) ・地域内路線 (27.5%) ⇒2025年度 現状維持</p>	<p>各種利用促進策により利用者数を維持又は増加させ、収支改善を図る。</p>	<p>令和7年度の路線別収支資料から</p>	<p>【2025年度現況値】 ・地域間幹線系統 52.7% (-9.3%) ・地域内路線 25.2% (-2.3%)</p>	<p>・地域間幹線系統については、利用者減少に伴う収入減及び人件費や修繕料などの費用増により収支率が減少した。 ・地域内路線については、利用者減少や燃料費高騰などの費用増により収支率が減少した。 ・引き続き、各路線の状況は悪化していると考えられるため、今後利用の少ない路線の見直し等、収支改善に努める。</p>	

(記載に当たったでの留意事項)

- ・ 本様式中、表題の「(〇年〇月～〇年〇月)」の部分には、評価等の対象となる期間を記入してください。
- ・ 毎年度の評価にならないような目標や、数年おきの評価を予定している目標については、「備考」の欄にその旨を明記の上、「目標」及び「備考」の欄以外は「-」と記載して下さい。
- ・ 一つの目標と複数の取組が対応している場合や、複数の目標と一つの取組が対応している場合には、適宜欄を修正の上、記載を行ってください。
- ・ 月ごとの利用者数の推移等の詳細データや、地域公共交通計画の評価等に係る協議会における議論の結果(議事録等)等の関連資料がある場合には、併せて添付して下さい。
- ・ 地方公共団体・協議会等において独自に作成している評価等の様式が既にある場合や、地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価を行った報告様式がある場合には、参考資料として添付して下さい。

令和7年度収支決算書

収入総額 38,389,622 円  
 支出総額 35,865,545 円  
 差引 2,524,077 円

1 収入の部

単位:円

科 目	予算額	決算額	予算に対する増減	説 明
1 負担金	26,500,580	25,709,170	△ 791,410	南房総市負担金 15,459,063
				館山市負担金 10,250,107
2 補助金	6,762,000	7,639,000	877,000	地域公共交通確保維持改善事業費補助金(地域公共交通調査事業) 2,626,000
				フィーダー系統補助(チョイソコ南房総・館山) 1,522,000
				フィーダー系統補助(館山市街地循環バス) 3,491,000
3 繰越金	4,824,214	4,824,214	0	
4 諸収入	336	217,238	216,902	自動車保険料還付金 203,430
				預金利息 13,808
合計	38,087,130	38,389,622	302,492	

2 支出の部

単位:円

科 目	予算額	決算額	予算に対する増減	説 明
1 会議費	413,760	388,710	△ 25,050	報償費、費用弁償等
2 事務費	90,000	66,962	△ 23,038	振込手数料、印紙代等
3 事業費	36,978,820	35,409,873	△ 1,568,947	チョイソコ南房総・館山運行費用 15,222,050
				公共ライドシェアの実証運行費用 7,175,883
				公共交通計画策定支援業務 9,328,000
				館山市街地循環バス費用(フィーダー系統補助分) 3,491,000
				交通マップ及びWEB乗車券啓発物作成費 192,940
4 予備費	604,550	0	△ 604,550	事業費へ充用 630,000
合計	38,087,130	35,865,545	△ 2,221,585	

## 会計監査報告書

令和7年度南房総・館山地域公共交通活性化協議会歳入歳出決算について、令和8年5月11日に監査を実施し、関係書類を精査した結果、付属書類は帳簿と相違なく、適正に処理された内容であると認め、報告します。

令和8年5月21日

監査委員 手島 隆 ⑩

監査委員 鈴木 賢二 ⑩

※両監査委員には、報告書に自署・押印をいただいておりますが、個人情報保護（印影）のため原本の添付は差し控えております。